



発行：豊町東町会 編集：事務局広報部
お問合せ 豊町ふるさと会館 Tel & Fax 04-7169-1101

今号のご案内

- 餅つき大会のご案内
- 炊き出し訓練を実施
- 健康づくり推進員の活動
- 水戸街道物語 第3回

餅つき大会に集まれ！！

1月7日(日) 豊小学校校庭



町会の事始め「新春餅つき大会」を実施します。豊小学校の協力で広い校庭にたくさんの人を迎え、新春を祝って楽しいひと

と時を過ごしていただくイベントです。成年部、婦人部、子供会が中心になって 90kg の餅をつき、手作りの豚汁とともに参加する皆さんに無料で味わっていただきます。

●防災訓練も兼ねます

緊急避難場所である豊小学校への順路を確認し、豊小学校の先生と一緒に煮炊きをしたり餅をつくなど、災害時の避難・炊き出し訓練も兼ねています。防災倉庫から用具を運搬して準備をするなど、町内の絆を深める機会としましょう。



●「はしご乗り」の実演も

町内の「高橋鳶」さんのご厚意により、伝統の「はしご乗り」を披露していただきます。江

戸の火消しから現代に引き継がれている日本固有の文化をぜひ間近でご覧ください。木遣り節とともに纏（まとい）をかざしながら登場する「柏若鳶会」の皆さんの妙技をお楽しみに！



●みんなで「ドラム・サークル」



子供会の「柏元気太鼓」の披露もあります。ことしは集まった全員がドラムをたたいたり、マラカスで拍子を取りながら自然にコミュニケーション作りができる「ドラム・サークル」も実施します。経験も練習も不要。リードする人に合わせドラムをたたくと、みんな友達になってしまいそうになる不思議なイベントです。また、シニアクラブ「明寿会」の皆さんが羽根つき、コマ回しなど昔の正月の遊び方を教えてください。

食器と箸を持参して、ご家族やご近所を誘ってお出かけください。

●防災診断を全区で実施

わが町の防犯力を確かめましょう

防犯診断を下記の日程で全区で実施します。柏市防災安全課、柏警察署の防犯担当者と一緒に自分の住む町を回りながら、問題のある個所の指摘、対処方法などを指導してもらいます。空き巣に狙われる家とは？ゴミ集積所の状態で犯罪発生率が変化するなどがわかる“体験学習”です。柏市防犯協会富里支部の事業のひとつです。たくさんの方の参加をお待ちします。申し込みは不要。直接集合場所へ集まってください。



12月16日(土)

地域	集合時間	集合場所
1区	10:00～	豊町ふるさと会館
2区	13:30～	別雷稲荷神社事務所

1月13日(土)

3区	10:00～	豊町ふるさと会館
4区	13:30～	豊町ふるさと会館



炊き出し訓練を実施

なんとか炊けました



雨で延期となっていた防災炊き出し訓練ですが、11月11日に低見台公園で実施しました。

20人ほどが参加した今回は、プロパンガスでの炊き出しに初挑戦。結果は……炭火に比べると手間はかかりましたが、火力が弱いためか蒸らしが十分ではなかったのか、肝心の炊き上がりは少し硬めの仕上がりに。でもそれが分かったのも良い経験と、皆さん炊き立てのお米で握ったおにぎりを美味しそうに頬張っていました。

文化祭に新しい試み

11月4～5日にかけて富里近隣センターで文化祭が開催。東町会からは恒例の模擬店の他にも新しい試みがあったのでご紹介します。

●陶芸クラブ「悠々」も出展

豊小学校の近くで陶芸教室も行っている陶芸クラブ「悠々」の皆さんが作品を出展。温かみのあるカップやお皿、可愛い猫をモチーフにした



作品などクラブの先生と生徒さんの作品の数々が来場者の目を楽しませていました。

「悠々」では、金・土を除く12時～17時で陶芸教室を開催。2人の先生が初心者の方でも優しく教えてくれます。1日体験もできるとのことなので、興味ある方は以下までお問い合わせください。

☎ 090-4011-1138 (遠山)

●「小金原勝景絵図」展示



ふるさと会館1階にも展示している「小金原勝景絵図」。新木戸の周辺や、いまの町会を通る旧水

戸街道が、江戸時代は小金牧の原野で、松並木が道しるべだった様子などを伝える絵図を、興味深そうに眺める人たちの姿も見られました。

●「ドラム・サークル」も初実施

老若男女問わず参加していたのは、文化部の村田さんがリードする「ドラム・サークル」。みんなで輪になり、村田さんが全身で取るリズムに合わせて楽しそうにドラムを叩きながら、大いに盛り上がりました。



●模擬店ではうどん・おにぎりを



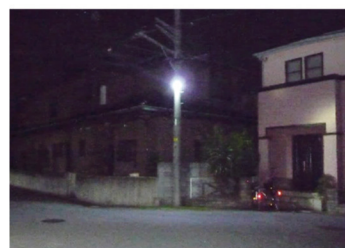
4日には成年部と婦人部の有志による模擬店を出店。毎年好評のおにぎりは今年も早々に完売、たくさんのお客さんが訪れていました。

防犯灯のLED化

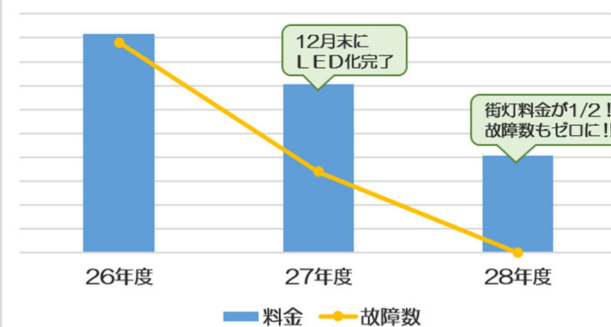
費用が減って、故障もゼロ

2014年に2区から順次実施されていた防犯灯のLED化について、データに基づいてその実績をお伝えします。

町会内にある防犯灯総数は534基、現在その全てがLED化されています。年度別のデータで見ると、平成26年度に約167万円かかっていた電気料金が28年度には約82万円となんと1/2以下に。また、26年度には88基あった故障数も27年度には34基へと減少、28年度以降は0基となり、こちらも経費削減に大きく貢献しています。



＜LED化に伴う街灯料金・故障数の推移＞



若いお母さんの心の支えに

「柏市民健康づくり推進員」の活動



子育ての応援や、地域の健康づくりに活躍するのが「柏市民健康づくり推進員」です。核家族化で相談相手の少ない若いお

母さんの心の支えとなっているボランティアについてレポートします。

健康づくり推進員は、町会長や自治会長から推薦され、市長が委嘱する非常勤の特別職で、当町会では現在3人が活動しています。主な仕事は①3～4か月の赤ちゃんがいる家庭への声かけ訪問②妊婦や子供を対象にしたふれあいの場のお手伝い③健康や子育てをテーマにした講演会や勉強会の開催など。

相談相手のいない若いママにとっては、頼りになる存在です。たとえば「初めての子育てで母乳の適量がわからなくて不安」という相談



に対し「飲んだあとぐっすり眠れば大丈夫ですよ」とアドバイスするというのは、12年の経験を持つ谷村吉詩恵さん。自分の経験を活かして対応しているとのこと。



富里地域では、母子健康体操、離乳食料理教室、幼児を持つお母さんのための防災対策の勉強会などが開かれており、“青いエプロン”の推進

員が母子のサポートをしています。

任期は3年。平成30年4月に改選されます。2000世帯を超す規模の当町会では、6～7人の推進員が必要です。子育てや健康づくりに関心のある方は、ぜひボランティアとして参加してください。



ボランティアとして地域活動に参加しませんか！



柏市民健康づくり推進員や学童の見守り活動など、地域の活動に協力していただける人を募集しています。詳しくは町会事務局にお問い合わせください。

豊小児童の見守りの現状は

人員不足が最大の悩み

豊小学校児童の下校時の見守りは、町会の各区とシニアクラブ「明寿会」有志が月～金曜日に行っています。活動の現状をお知らせします。

1、2年生を対象とする見守りの場所と人数は ①高橋酒店前交差点（2人） ②学校正門を出て左手の横断歩道（2人） ③元関電工前（1人） ④美容室ラグーン前交差点（1人）

⑤常磐線陸橋下交差点（2人）。月～金曜日のうち、火、木曜日は明寿会（11人）が協力しています。



見守り用のベストと帽子、緑の旗を持って立てば、運転者に安全運転をアピールし、また犯罪の抑止にもひと役買っています。

昨年の松戸での悲惨な事件を受けて、地域の見守りの重要さは増しています。5か所で十分とはいえ、範囲を広げる必要もありますが、見守る人の人数が足りません。各区では班長さんら区の役員が交代で出たり、ボランティアをお願いしていますが、毎日の見守りに十分とはいえないのが現状です。



最も交通量が多いのが、陸橋下の交差点。ここはほとんど南柏町会、豊町西町会の児童が通る道で、両町会との協力体制を

を作っていく必要もありそうです。

学童見守りを担当する町会の三井副会長は「2月に1回、3月に1回でもいい。午後の1時間ほどを見守りに協力していただけるとありがたいのですが…」とボランティアへの参加を呼びかけています。

なお、朝の登校時の見守りは、保護者が行っています。

【問い合わせ】

豊町東町会事務局（豊町ふるさと会館内）

☎ 04-7169-1101

（電話受付は火・木・土曜日 10:00～12:00）



③思い出の教室：小学校編

豊小学校が昭和 55 年に開校するまで、町内の児童は柏二小、柏三小、柏八小などの学校で学びました。今回は町の人が通った小学校での思い出の一片を紹介します。

●砂利道を 1 時間かけて



柏二小は明治 21 年開校（当時は豊四季小学校簡易科）、130 年の歴史を持つ市内で最も古い小学校。戦後、柏三小ができてからもたくさん

の児童が通学しました。昭和 37 年卒業の村田恒さん（67）は「通学は子供の足で約 1 時間。雨が降っても風が強くても、人家もまばらな砂利道を毎日通いました」。印象に残る思い出は、運動会で走る選手がたびをはいっていたこととか。

●「熱中時代」のモデル学級に

柏三小は昭和 23 年 6 月開校。高度成長期の昭和 40 年代に児童数も激増し、県内でも有数の大規模校に。昭和 40 年入学の上原英司さん（59）は「1 学級 50 人ぐらいで 8～9 学級あったかな。当時は〇年〇組といわず、担任の名をつけた学級でした。1 年では松岡学級、4～5 年は小磯学級とよく覚えています」。当時人気があったテレビの学園ドラマ「熱中時代」のモデルが小磯学級だったということです。



●校庭の後片付けに働く

柏三小の分離校として昭和 46 年 4 月、柏八小が開校。前記の上原さんは 6 年で移ったため、第 1 期の卒業生。新入生も含め児童 1061 人でスタートしましたが、地域では豊町の 345 人が最も多かったといえます。校舎はできたものの、山を切り開いて作った学校だけに、校庭には木の根や石がごろごろ。1 週間ほど授業をせずに、全校児童で校庭の片付けに働いたとは、第 1 期卒業生の回想。

●町内に小学校が誕生



柏八小の分離校として、また柏二小の学区変更で昭和 55 年 4 月 1 日、豊小学校が開校しました。市内で 26 番目の小学校です。

柏八小、柏二小からの編入、新入学など全校児童 527 人で発足。今年で 38 年目という、まだ若い小学校です。平成 28 年度までの卒業生は、3162 人。昭和 59 年卒業の鈴木一美さん（46）は柏八小から移って 3 年生でスタート。ここでも「まだ工事中で校庭も完成してなくて、思うように遊べなかった」と発足当時を回想。第 1 号の卒業生が 50 歳。消防分団長も経験した鈴木さんのように、地域で活躍する卒業生も多くいます。

昇降口前の桜の木は、10 周年の平成元年に植えられ、待ち合わせの場所になるなどシンボリックな存在に。

●全卒業生の集合写真

応接室には歴代校長、PTA 会長の写真とともに、第 1 期からのすべての年次の卒業生の集合写真が掲示してあります。



これから掲示を続けるとのことで、ユニークな学校の財産になりそうです。

●「ふるさと」を大切に

第 14 代の池田真理子校長先生の話

「豊小に赴任して 3 年目ですが、児童の見守り活動をはじめ、保護者、地域の方がとても熱心に協力してくださることを強く感じています。豊小を卒業する子供たちには、この町をふるさととして大切に守ってほしいと願っています」

園名、学校名	開校年月
くりの木幼稚園	昭和49年4月
豊町保育園	昭和53年4月
柏第二小学校	明治21年4月
柏第三小学校	昭和23年6月
柏第八小学校	昭和46年4月
豊小学校	昭和55年4月
中原中学校	昭和61年4月